

地区米山奨学委員会

委員 磯田 郁子

(大阪東淀RC)

日時: 2007年8月4日(土) 14:00~15:30

場所: 大阪薬業年金会館

出席者: 新谷G、大谷GN、近藤PG(地区担当理事)、池田地区幹事、岡田委員長
池田副委員長、笠原、青木、村橋、北川、稲邑、石山、磯田各委員
各クラブ米山委員長、カウンセラー90名

2007年度「米山奨学委員会 米山奨学委員長およびカウンセラー研修会」が上記のように開催されました。はじめに大谷GNが挨拶で、米山奨学委員会の意義についてお話になり、この歴史ある日本ロータリー独自の米山制度のすばらしさを改めて認識しました。

その後、近藤PGより「米山奨学会—今後の展望—」というお話があり、今年度から導入された現地(ベトナム)採用などの内容を伺いました。

引き続き、岡田委員長がパワーポイントを用いて「カウンセラーの心得」を説明し、各グループに分かれてのディスカッションへと移りました。6つのグループに分かれてのディスカッションでは、それぞれ

A. 奨学生の世話で困ったこと、良かったこと。
B. 奨学生の割り当てに関して地区委員会への要望は。
C. 奨学期間終了後、学友とどう

付き合うのか。 D. 米山奨学会、地区委員会への希望。 E. どうすれば寄付金が増えるのか。 F. 奨学生を世話することに何か問題があるか。というテーマに沿って話し合っていました。各テーブル、時間が足りなくなるほど熱心な話し合いが行われました。その後、各テーブルリーダーからまとめの発表があり、奨学生が帰国してから連絡が取れなくなってしまったのでその後の消息を知りたい、奨学生を1度もお世話したことがないのでよくわからない、米山奨学制度意義をもっと会員に伝えるにはどうしたらいいかなどの意見が出されました。最後に村橋委員からのグループ討論のまとめ、新谷Gからの講評が行われました。「米山」を考える有意義な研修会になりました。

今後とも2660地区ロータリアンの皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

